

## 令和元年度 簿記実務検定試験 3級問題 (制限時間 1時間30分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金
未	収	金	土	地		支	払	手	形	買	掛	金
前	受	金	所	得	税	未	払	金		資	本	金
売		上	受	取	手	固	定	資	産	仕		入
給		料	発	送	費	支	払	利	息	固	定	資
										産	資	産
										売	却	損

- a. 飯山商店から商品 ¥620,000の注文を受け、代金の一部 ¥120,000を現金で受け取った。
- b. さきに中野商店に対する買掛金の支払いとして振り出していた約束手形 ¥430,000について、取引銀行から期日に支払われた旨の通知を受けた。
- c. 須坂商店(個人企業)の店主は、事業拡張のため、現金 ¥2,000,000円を追加元入れた。
- d. 帳簿価額 ¥6,530,000の土地を ¥6,000,000で売却し、代金のうち半額は小切手で受け取り、残額は翌月末に受け取ることにした。
- e. 長野商店に商品 ¥300,000を売り渡し、代金は掛けとした。なお、この商品の発送費(当店負担) ¥5,300は現金で支払った。
- f. 本月分の給料の支払いにさいし、支給総額 ¥550,000から所得税の源泉徴収分 ¥28,000を差し引き、現金で支払った。

2

上田商店の下記の9月中の取引について、総勘定元帳への記入を示し、合計試算表を作成しなさい。

## 取引

- 1月4日 千曲商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥81,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。
- |     |      |            |           |
|-----|------|------------|-----------|
| A 品 | 150個 | @ ¥1,500   | ¥225,000  |
| B 品 | 80 " | " " ¥3,200 | " 256,000 |
- 5日 1台 ¥600,000 の事務用パーソナルコンピュータを3台購入し、代金のうち ¥800,000 は小切手 #16 を振り出して支払い、残額は月末に支払うことにした。
- 10日 東御商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥300,000 は同店振り出しの約束手形 #5 で受け取り、残額は掛けとした。
- |     |      |            |           |
|-----|------|------------|-----------|
| A 品 | 70個  | @ ¥2,300   | ¥161,000  |
| B 品 | 50 " | " " ¥4,900 | " 245,000 |
- 13日 伊那商店から借用証書によって借り入れていた ¥200,000 を、本日、利息 ¥6,000 とともに現金で返済した。
- 16日 佐久商店から、商品代金として受け取っていた同店振り出しの約束手形 ¥270,000 を取引銀行で割引き、割引料を差し引かれた手取金 ¥262,000 は当座預金とした。
- 19日 小諸商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。
- |     |      |          |          |
|-----|------|----------|----------|
| B 品 | 100個 | @ ¥3,000 | ¥300,000 |
|-----|------|----------|----------|
- 21日 小諸商店から仕入れた上記商品の一部に品質不良のものがあつたので、次のとおり返品した。なお、代金は買掛金から差し引くこととした。
- |     |     |          |          |
|-----|-----|----------|----------|
| B 品 | 10個 | @ ¥3,000 | ¥ 30,000 |
|-----|-----|----------|----------|
- 24日 千曲商店から買掛金の一部 ¥580,000 を、小切手 #9 を振り出して支払った。
- 28日 飯山商店から商品 ¥600,000 を仕入れ、代金は同店あての約束手形 ¥600,000 を振り出して支払った。

3

茅野商店の次の取引を、入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

## 取引

- 9月24日 売買目的で諏訪産業株式会社の株式8株を @ ¥90,000 で買入れ、代金は小切手 #6 を振り出して支払った。(伝票番号 No.22)
- " 岡谷銀行に現金 ¥500,000 を1か年の定期預金として預け入れた。(伝票番号 No.18)

4

次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文の( )にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群の中から選び、その番号を記入しなさい。

企業の経営活動に必要な現金・商品・備品・土地などの財貨や売掛金・貸付金など、後日一定金額を受け取る権利(債権)を(ア)という。また、買掛金・借入金など、企業が将来一定の金額を支払わなければならない義務(債務)を(イ)という。

資産の総額から負債の総額を差し引いた金額を純資産といい、簿記ではこの純資産の額を(ウ)という。

1. 資産                      2. 収益                      3. 資本                      4. 負債                      5. 費用

(2) A品の販売をおこなっている小諸商店は、商品有高帳を先入先出法によって記帳している。

a. 次の勘定記録と商品有高帳によって(①)と(②)に入る金額を求めなさい。ただし、A品は1個あたり¥700で販売している。

売 上			10	仕 入			15
	1/7	売掛金	56,000		1/16	買掛金 ( ① )	
	22	売掛金 ( ② )					

商 品 有 高 帳

(先入先出法)                      品 名      A 品                      単位:個

平成 ○年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
1	1 前月繰越	180	500	90,000				180	500	90,000
	7 千曲商店				80	500	40,000	100	500	50,000
	16 坂城商店	50	530	26,500				100	500	50,000
								50	530	26,500
	22 屋代商店				100	500	50,000			
					10	530	5,300	40	530	21,200

b. A品を移動平均法で記帳した場合の、(※)に入る金額を求めなさい。

商 品 有 高 帳

(移動平均法)                      品 名      A 品                      単位:個

平成 ○年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
1	1 前月繰越	180	500	90,000				180	500	90,000
	7 千曲商店				80	500	40,000	100	500	50,000
	16 坂城商店	50	530	26,500				( )	( ※ )	( )
	22 屋代商店				110	( ※ )	( )	( )	( ※ )	( )

伊那商店(個人商店 決算年1回 12月31日)の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を作成しなさい。
- (2) 資本金勘定に必要な記入を行い、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

#### 決算整理事項

a. 期末商品棚卸高      ¥450,000

b. 貸倒見積高      売掛金残高の5%と見積もり、貸倒引当金を設定する。

c. 備品減価償却高      取得原価 ¥3,000,000      残存価額は零(0)      耐用年数は10年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

d. 現金過不足勘定の ¥5,000 は雑益とする。

e. 引出金勘定の ¥25,000 は整理する。